

令和 5年度予算見積調書

課室名: 森づくり課
 担当名: 総務・森林企画担当
 内線: 4312

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P80	スマート林業推進事業			一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	森林計画推進事業費		
事業期間	令和2年度～令和7年度	根拠法令	森林・林業基本法、森林法			針路	12 儲かる農林業の推進	SDGsゴール	11, 15, 17	
					分野施策	1203 林業の生産性向上と県産木材の利用拡大	SDGsターゲット	11-a, 15-2, 17-17		
1 事業概要 森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させ、重視すべき森林の機能に応じて、望ましい森林の姿に誘導する必要があるため、ICT技術を用いて森林情報を把握し、共有する。 航空機による県内森林資源の現況や地形等を詳細に把握するための航空レーザ測量業務及び測量成果を基に県内森林資源の有効活用のための資料を作成する解析業務を行う。 また、県、市町村、林業事業者等の管理する森林情報をクラウド上で一元的に管理するシステムを令和2年度に構築したため、運用保守を行う。 森林資源調査業務 114,600千円				5 事業説明 (1) 事業内容 森林資源調査業務 森林資源レーザ計測・解析、森林クラウドシステム運用保守 114,600千円 (2) 事業計画 令和4年度 埼玉地域森林計画樹立 計画期間 令和5年4月1日～令和15年3月31日 (3) 事業効果 健全な森林の整備が図られ、森林の多面的機能が高度に発揮される。 森林法、埼玉県水源地域保全条例に基づいた制度の適正な執行が図られる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 県が策定した地域森林計画に適合した市町村森林整備計画を市町村は策定する。 市町村等に届出のあった森林所有者情報等を森林簿データに反映し、森林の適正な管理の為の相互利用を図る。 森林クラウドシステムを活用し、県と市町村、林業事業者間での森林情報の共有を円滑に行う。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 林野行政費(細目) 林業振興指導費 (細目) 森林計画費 (積算内容) 計画策定経費等										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.6人=5,700千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		繰入金								
決定額	114,600	114,600							0	22,927
前年額	91,673	91,673							0	

事業内訳書

事業名	スマート林業推進事業		
単位事業名	森林資源調査業務	予算額	114,600千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	114,600	22,927	森林資源解析データの整備 104,075千円 森林クラウドシステム運用保守 10,525千円
合計	114,600	22,927	